

「世界のバーチャル臨床試験市場2022年－2032年：研究デザイン別（介入研究、観察研究、拡大アクセス研究）、疾患別（がん、循環器、その他）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました



2022年11月17日

株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界のバーチャル臨床試験市場2022年－2032年：研究デザイン別（介入研究、観察研究、拡大アクセス研究）、疾患別（がん、循環器、その他）」調査資料の販売を2022年11月17日に開始いたしました。バーチャル臨床試験市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

- レポートの種類：グローバル市場調査レポート
- レポートのタイトル：世界のバーチャル臨床試験市場2022年－2032年：研究デザイン別（介入研究、観察研究、拡大アクセス研究）、疾患別（がん、循環器、その他）
- 英文タイトル：Global Virtual Clinical Trials Market by Study Design (Interventional, Observational, Expanded Access) , by Indication (Oncology, Cardiovascular, Others) , and by Region - 2022 to 2032
- 発刊日：2022年11月2日
- 出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
- レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容

市場調査および競合情報提供会社であるTransparency Market Researchのバーチャル臨床試験産業調査によると、歴史的に2017年から2021年まで、バーチャル臨床試験産業の市場価値は約5.8%のCAGRで増加し、米国、英国、中国、韓国、日本などの国が世

界市場において大きなシェアを占めています。このため、仮想臨床試験市場は今後10年間、CAGR7.4%で成長すると予測されています。

仮想臨床試験業界の成長につながる要因は何ですか？

2020年4月

に発表された調査によると、評価された臨床試験施設の約30%は、新しい試験調査のための患者の登録だけでなく、研究に従事している患者を軌道に乗せることに大きな影響を及ぼすと予測されています。さらに、欧州の臨床試験研究施設の81%、米国の施設の56%によると、患者が研究への参加を継続する可能性は低くなっています。さらに、[3月30日](#)

の時点で、およそ30の製薬またはバイオテクノロジーの新興企業が、この危機の結果として試験の中止を報告しています。COVID-

19の危機では、分散型試験とも呼ばれるバーチャル試験が重要な役割を果たしましたが、今後は実際の研究だけでなく、試験のやり方も主流になると予想されます。

バーチャルな方法では、自宅にいながら試験に参加できるため、現地訪問が不可能な場合でも研究を進めることができます。臨床試験参加者から安全性と有効性のデータを収集するための新しいアプローチとなります。参加者は、バーチャル訪問と遠隔モニタリングにより、過剰なリスクにさらされることなく、安心して参加することができます。

スポンサーは、より多くの被験者をバーチャル・スタディに参加させることができ、リクルート活動、被験者参加、被験者維持の向上につながります。また、デジタルヘルス技術により、継続的なリアルタイムのデータ収集が可能になります。バーチャル接続、モニタリング、管理は、最終的には参加者、CRC、治験責任医師の労力、時間的負担を軽減することができます。

バーチャル臨床試験で最大のビジネスチャンスを提供すると予測されるのはどの地域ですか？発展途上国、特にインドと中国におけるバーチャル臨床試験の需要が高まっていることから、アジア太平洋地域の市場は予測期間を通じて最も速い速度で成長すると予測されています。この地域の市場は、高度な医療インフラの近代化が続いているため、予測期間を通じて成長すると予想されます。

アジア太平洋地域の仮想臨床試験市場は、予測期間中に最も速いCAGR 6.8%で成長すると予測されています。これは、候補者を容易に採用できる大規模な患者プールの増加、および同地域におけるデジタル技術の浸透の増加に起因しています。

米国の仮想臨床試験市場の分析

2021年、米国は仮想臨床試験業界を支配し、売上の35%以上を占めました。同国は予測期間中、その優位性を維持すると思われます。これは、同地域における研究開発の増加、臨床研究における新技術の採用拡大、政府支援に起因するものです。また、業界関係者は、顧客のニーズを満たすためにデジタル技術を活用しています。例えば、パレクセル社では、ハイブリッド技術やバーチャル技術など、100以上の分散型実験を実施しました。患者は、全米に約1,900カ所あるCovance社のLabCorp Patient Service Centersで研究に参加することができます。

英国のバーチャル臨床試験市場は、2021年に290.6

Mn米ドルと評価されました。2032年までに、同国の市場は520.8

Mnドルの評価額に達すると予測され、2022年から2032年の間に5.2%のCAGRで、この期間に2億1100万米ドルの絶対額の機会を記録します。

日本のバーチャル臨床試験市場は、2021年に3億8300万米ドルと評価されています。この市場は630

Mnドルの絶対的なドル建て機会があり、2032年までに10億米ドルの評価に達すると予想されます。2022年から2032年の間に、日本の市場は10.5%のCAGRを記録すると予測されています。

韓国のバーチャル臨床試験市場は、2032年までに3億2600万米ドルの評価額に達すると予測されま

す。同国の市場は、2022年から2032年の間にCAGR6.6%で成長し、1億5400万米ドルの絶対額の機会が目撃されると予想されます。

なぜ腫瘍学が仮想臨床試験市場を支配しているのか？

2021年の仮想/分散型臨床試験市場は、オンコロジーカテゴリが総収入の25.2%を占め、市場を支配しています。また、同カテゴリは予測期間中、市場の最大シェアに貢献すると推定されます。この背景には、世界的ながん患者数の増加や、がん領域の臨床試験数の増加があります。COVID-19の期間中、がん患者は最も被害を受けやすい状況にありました。患者の安全を確保し、研究を進めるために、腫瘍学臨床試験の研究者とスポンサーは、仮想試験と遠隔試験を迅速に統合しました。

さらに、がん研究者は、患者の募集において大きな課題に直面しています。[2019年6月](#)

現在、およそ14,000の腫瘍学臨床試験が採用を試みており、参加率は潜在的候補者の3%から8%で、少数民族や老人人口では参加率がかなり低くなっています。低い参加率は特定の臨床試験の成功を危うくし、治療の進歩やそれに伴う転帰への利益を阻害する可能性があります。その結果、募集人数の少なさと、腫瘍学分野の臨床試験における多様な集団の必要性が、仮想臨床試験の採用を促進すると予想されます。

バーチャル臨床試験市場のデザインタイプとして、インターベンションデザインが市場を支配する理由は？

2021年、バーチャル/分散型臨床試験（DCT）市場において、インターベンションデザインセグメントは収益の46.7%を占めています。さまざまな病気に対する革新的な医薬品を生み出すために実施される試験の数が急速に拡大していることと、研究所のデジタル化がこの業界を牽引しています。従来の臨床試験の方法では人に感染するリスクが高いため、コロナウイルスの発生により、この問題に対処するための新しいワクチンの試験とトライアルの需要が世界中で高まっています。その結果、介入試験デザインに対する需要が高まっています。

バーチャルトライアルは、心血管疾患、免疫学、消化器、皮膚、呼吸器、内分泌など、介入をあまり必要としない慢性疾患や観察研究により適しています。このコンセプトのバイオニアである企業は、独自のモバイル遠隔医療ベースのプラットフォーム「NORA」を採用し、10州にわたる372人の患者を対象とした第2b相「シットレス」臨床試験を実施しました。予測期間中、最も速い速度で成長すると予測されるのは、拡張アクセス部門です。COVID-19の新しいバリエーションが継続的に登場することで、短期的には新薬への拡大アクセスに対する需要が発生すると予想されるため、拡大アクセスは患者の潜在的利益が潜在的危険性を上回る場合に適切な実行可能な経路と言えます。

■レポートの詳細内容はこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/data1/global-virtual-clinical-trials-market-by-study-design-interventional-observational/>

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/contacts/>

■調査会社Transparency Market

Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について

<https://www.marketresearch.co.jp/Transparency-Market-Research/>

株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market

Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて

<https://www.marketresearch.co.jp/>

主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供

本社住所：〒105-0004 東京都港区新橋1-18-21

TEL : 03-6161-6097 FAX : 03-6869-4797

マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぶれりリプレスリリース

<https://www.prerele.com>